

(別紙4(2))

事業所名 JA愛知厚生連あつみの郷グループホーム

目標達成計画

作成日: 令和 3年 2月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	コロナ禍で認知症カフェの再開を見合わせているが、これまでの参加者、地域との繋がりが途切れている。	認知症カフェの情報を発信する。	①開催に向けてお知らせを作成する。 ②関係機関との繋がりを再度築き、情報を掲示する。 ③認知症支援部会の場で認知症カフェの情報交換をする。 ④地域に向けてグループホーム便りを発進して繋がりを維持続ける。	12ヶ月
2	2	感染症問題の為、地域の方々との活動やホーム独自の取り組みが中止になる等の影響が出ている。	コロナ禍でもできる活動をしていく。	①地域に出る見守り隊の活動は、敷地内において人数を限定して行う。 ②移動販売車での買物を行う。 ③少人数でのクラブ活動を行う。	12ヶ月
3	35	グループホームが4階の為、屋外へ利用者全員の避難訓練が困難。	防災活動区域に通じる箇所への避難を利用者の心身の状態に合わせた誘導で移動が完了する。	①避難誘導カードの身体状況、認知状態の見直しをする。 ②避難誘導カードの活用手順書の作成と周知。 ③被害箇所に応じた避難経路を想定し移動できる。 ④利用者の心身の状態に合わせた避難訓練を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。